

心に青葉

大好きなこの季節は何か爽やかで素踊りには敵の紫外線を除けておりますが、昨年一年は私にとって不思議に踊りの日々を過せましたが、その前の五年は紫外線に当たりたいと思う程、病院暮らしでした。外的に苦しい時は特に今年のように外出禁止令まで言われますと、病後の身体にはやはり怖い思いもよぎりますが、アツ人間には心がある。そこを稽古の中心とすればという新しい感覚が生れて参りました。幼い頃よりの訓練でしようか、筋力も先生方が思われるより落ちず、今は自宅で「貴租ストレッチ」と自分で称して、様々な工夫をして生活いたしております。毎日TVで亡くなられた多くの方々の知らせを聞きますのはとても辛く、戦後生れの自分には本当の戦争を経験なされた世界の方々の人間の残酷さ、強さを感じずにはいられません。やはり「舞をどり」は身体そしてその身体の中にある心も大切な大切な宝物である事を確信いたしました。



長唄『江口』